

# 桃山学院大学と和泉市との連携事業 結果一覧表(令和2年度)

連番	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署		連携事業の結果	事業効果・成果	今後の課題等	
1	インターンシップ	公共サービスのイノベーション人材育成事業	経営学部	市民生活部 市民室 出張所担当	○	令和2年度はコロナ感染拡大に伴い大学の講義がリモートとなり、大学生と直接話し合う機会が1度のみとなった。 令和2年6月8日リモートにて、自己紹介、シティプラザ出張所の概要、問題点を定義。 話し合いの結果、マイナンバーカードの普及促進のため学生からの観点での啓発ポスターを作成。出張所市民サービスのひとつである市民に周知するために作成したポスターを出張所やサービスセンターのカウンターに配架した。	マイナンバーカード普及促進のポスターを作成することで市民に周知しマイナンバーカード普及率の向上につながった。	コロナ感染拡大に伴いリモートでの話し合いの時間の調整を行うことが難しかった。今後もコロナ禍で限られた学生のスケジュール調整と連携していく取り組み内容が限定されていくのである程度こちらから問題点を早期に提案していかなくてはならない。	
2	インターンシップ	博物館学芸員課程 博物館実習	経営学部	生涯学習部 文化遺産活用課	○	いずみの国歴史館で、学芸員課程履修学生の施設見学を受入れた。 展示室だけでなく、一般の人が入ることのできないバックヤードも案内した。	普段見ることのできない博物館のバックヤードを見学することにより、そこで働く学芸員の仕事に触れてもらうことができました。	—	
3	インターンシップ	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (学芸員課程履修学生の受け入れ及び講師派遣)	経営学部	生涯学習部 久保記念美術館	○	博物館見学研修 10月31日(土)に博物館学芸員資格過程教育の一環として学生5名と引率教員1名が来館した。美術館学芸員が学芸員の仕事について説明を行い、展示見学を合わせて行った。  講師の派遣 7月8日(水)にインテグレーション科目「図書館・博物館への誘い(春)」のゲスト講師として「博物館・学芸員の面白さー美術館の観点から」というテーマで、大学にて講義を行った(リモート講義)。久保記念美術館の事業や学芸員の仕事について講義し、美術館や学芸員職への興味をもってもらえるよう努めた。	学生の感想として、学芸員の仕事に興味を湧いた。久保記念美術館に行ってみようという反応を得ることができた。	学芸員を目指す学生に有益な事業や久保記念美術館にもっと学生に来てもらえるような事業の検討	
4	インターンシップ	和泉シティプラザにおける 桃山学院大学インターンシップ 実習生の受け入れ 【生涯学習センター管理運営事業】	キャリアセンター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	×	コロナにより 未実施	令和2年度取組みなし	—	—
5	インターンシップ	統計調査員確保対策事業	地域連携室	総務部 総務管財室 統計担当	○	統計調査員の募集に関して、 ①国勢調査調査員募集のポスターの大学内への掲示(令和2年4月1日から同月30日) ②大学学生用のインターネット上の掲示板(M-port)への募集案内の掲載 ③関係学部の教授等に対する令和2年度国勢調査の実施及び調査員の募集の周知の3点を大学に依頼し、実施していただいた。	桃山学院大学生1名から国勢調査調査員として申し込みがあり、従事していただいた。また申し込みのなかった学生に対しても、統計の意識付けができたと考えている。	—	
6	インターンシップ	国勢調査事業	地域連携室	総務部 総務管財室 統計グループ	○		国勢調査の実施について、第1段階として、調査員募集の周知(ポスター掲示及び学生用インターネット配信(M-port))により意識付けを行っていたが、第2段階として、調査実施前(令和2年9月)に、再度調査協力の周知(ポスター掲示及び学生用インターネット配信(M-port))を行っていただいた。	桃山学院大学生の国勢調査の回答を促進することが出来た。	—
7	ボランティア	和泉ボランティア・市民活動センター 「アイ・あいロビー」との連携事業 (子育て世代応援「ももやまキッズランド」)	ボランティア活動支援室	市長公室 公民協働推進室 公民協働推進担当	×	コロナにより 未実施	アイ・あいロビーとコミュニティカフェオアシス及び桃山学院大学の学生が協働し、子育て世代の応援企画として「ももやまキッズランド」をアイ・あいロビーにて年6回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 大学側と、コロナ禍でもできる活動についての検討を行い、令和3年度に向けての準備を行った。	新型コロナウイルスの影響により、ももやまキッズランドは実施できなかったが、大学側と協議は重ねていたため、大学側との連携強化に繋がった。	コロナ禍の中、何ができるかを検討していく必要がある。
8	ボランティア	防犯ボランティア「桃バト」	学生支援課	市長公室 公民協働推進室 危機管理担当	○	警察等とも協働し、防犯キャンペーン、交通事故防止キャンペーン、下校時見守り活動等のボランティア活動を行う。  【令和2年度の実績】 10月から12月、週3回緑ヶ丘小学校の下校時見守り活動を実施。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた活動が実施できなかった。  【令和3年度の予定(既存活動の継続)】 ・緑ヶ丘小学校の下校時見守り活動 ・防犯教室の実施 ・青バト合同バトロール活動 ・各種防犯キャンペーンへの参加 ・各種防犯会議等への参加 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施	ボランティア活動の活性化、地域の安全安心に寄与	—	
9	ボランティア	信太山クロスカントリー大会 IN大阪和泉	ボランティア活動支援室	生涯学習部 生涯学習推進室 スポーツ振興課	×	コロナにより 未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止	中止のため、効果、成果の判定できず。	—
10	ボランティア	和泉市スポーツイベントへの ボランティア協力	ボランティア活動支援室	生涯学習部 生涯学習推進室 スポーツ振興課	×		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止	中止のため、効果、成果の判定できず。	—
11	ボランティア	各種講習講座等へのボランティア協力		生涯学習部 青少年センター	×		年度当初にボランティア担当講師と連絡を取り合い、学生ボランティアの事業への参加をお願いしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大や青少年センター事業の開催回数の減もあり今年度協力していただいた学生はありませんでした。次年度以降も引き続き学生ボランティアの事業への参加をお願いします。	—	—
12	ボランティア	子ども図書館調べ隊(たい) (読み聞かせ隊(たい))	社会学部	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	×		令和2年度活動なし	—	—
13	桃山学生向け	法職オリエンテーション	法学部	市長公室 人事課	○	【事業概要】 法学部1回生を対象に、学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに、将来の就職先として和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長が市役所の仕事や和泉市について講義動画の撮影を行い、後日学生が講義映像により学習する。	将来の就職先として市役所を志望し、新規採用職員に申し込みしてくれている。	—	
14	桃山学生向け	実践演習—まちをビジネスする— 観光ビジネス	大学統括部	環境産業部 産業振興室 商工観光担当	○	地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報を基に、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行った。(経営ビジネス学科の学生による全15回の定期講義を行った)	事業効果としては、市内の観光施設をテーマに来訪者を増加させる施策の検討や旅行会社の立場から市内観光施設でどのようにすれば利益をあげることができるかなど、ビジネスの視点で講義を行い、その中で市内観光施設を学生の皆さんに知ってもらうことができた。	今年度は観光ビジネス専門の講師がいなかったため、次年度は専門の講師を招聘する予定。	
15	桃山学生向け	経営学特講—まちをビジネスする— 公共施設の経営 【生涯学習センター管理運営事業】	経営学部	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○	公共施設の経営をビジネスという観点からとらえ、利用者を増やすための手立てを検討する。「和泉シティプラザの現状と課題」をテーマに、市職員による課題の提示後、現地見学、グループディスカッション、プレゼンテーション報告会を行った。 具体的には、生涯学習センターの貸館利用件数を増やすための手立てやカフェの利用者を増やす手立てをテーマとして考察していただいた。	利用者という視点からプレゼンテーションにより様々な改善案を提示しえいただき、施設運営の参考となった。	今後は他の所管施設をテーマとした取り組みも実施したい。	
16	桃山学生向け	デートDV防止講演会	法学部	総務部 人権・男女参画室 人権・男女参画担当	○	国内外の男女共同参画施策の動向やSDGsとの関わりと、男女の人権尊重の推進の醸成につなげることを目的し、学生や教職員、一般市民を対象に女性に対する暴力をなくす啓発事業の一環として、デートDVに対する正しい理解を深めるために講演会を開催。(法学部は授業の一環で単位取得の位置付け)	SDGsの中から、ジェンダー平等について取り上げ、対人関係とコミュニケーションを考える個人ワークを交えながら、女性に対する暴力をなくす運動に運動し、防止について考えを深めることができた。	—	

連番	大学_種類	事業名	大学担当部署	市担当部署	連携事業の結果		事業効果・成果	今後の課題等
17	市民向け	アメリカンフットボール部地域支援事業 (フライングフットボール指導)	アメリカンフットボール部	教育・こども部 学校教育室 教育指導担当	×	コロナにより 未実施	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、未実施。	—
18	市民向け	いずみ市民大学まちづくり学部 における連携講義	エクステンション・センター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	○		いずみ市民大学(教養学部)における連携講義の調整及び実施を依頼した。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため前期の講座が全て中止となったが、後期の6 講座(計62回)については、感染予防対策を行いながら、実施することができた。 3名の教員の協力のもと、文化財やニュース、歴史に関することなどの講義を行っていただいた。	市民の興味に基づいた講義をしていただき、市民大学 設置の目的である市民の学習意欲の醸成、活力ある 地域社会の実現とまちづくり活動を担う人材の育成に ご協力いただいた。
19	市民向け	ふれあいニューススポーツ教室	スポーツオフィス	生涯学習部 スポーツ振興課	×	コロナにより 未実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止	中止のため、効果、成果の判定できず。
20	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業	教職センター	教育・こども部 学校教育室 教職センター	×	その他	令和2年度活動なし ※単位取得に関わらない個別での学生参加はあり	—
21	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (和泉市中学生生徒会サミット)	教職センター	教育・こども部 学校教育室 教育指導担当	○		「和泉市中学校生徒会サミット」桃山学院大学との連携  令和2年度は、中学生による「コロナ禍でもできる生徒会活動」をテーマにリモートで発表を行った。  日時 令和2年12月25日(金) 14:00~15:30 場所 各中学校 内容 各中学校の生徒会役員のリモートによる発表 (教職課程在籍の大学生もリモートで参加し意見交流) 「コロナ禍でもできる生徒会活動」をテーマに各校が 取組みの発表を行った。	今年度で、10回目の開催となり、生徒会役員にとつて の活動の場となっている。また、当日は大学生からの 意見等により、考えを深める機会となっている。今回 は、初めてリモートで行い、「コロナ禍における生徒会 活動」について各校の取組みを知ること、今後の取 組みを考えるよい機会となった。
22	委員委嘱	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業(CSWへの スーパバイズ)	社会学部	福祉部 福祉総務課	○		第1回(令和2年11月10日) 【個別事例から「増進型福祉」を考える】～幸せのかたち～ CSWが関わった個別ケースの事例について、増進型福祉の考え方を通じたケース検討や意見交換 をし、総評・助言をいただいた。  第2回(令和3年2月19日) 【地域事例から「増進型福祉」を考える】 地域支援事例を通して増進型福祉の進め方や考え方について助言をいただいた。また、関係機関 (和泉市社会福祉協議会、地域包括支援センター)が参加することで異なる視点で意見を聴くことが できた。	小野教授より、増進型福祉の考え方を通じた個別支援 や地域支援事例について助言をいただくことでCSWの 支援の幅が広がった。
23	委員委嘱	社会的居場所づくりプロジェクト	社会学部	福祉部 福祉総務課	×	コロナにより 未実施	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、居場所づくりプロジェクトの方 針や実施方法について内部で調整していたため連携事業を実施できず。	—
24	委員委嘱	認知症まちづくり連絡会	社会学部	福祉部 高齢介護室 高齢支援担当	○		認知症まちづくり連絡会について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会長と相談した結果、書 面にて事業の進捗状況を委員に報告を行った。	進捗なし
25	委員委嘱	消費者啓発事業	経済学部	市民生活部 くらしサポート課	○		経済学部学生に対して消費者被害の現状と若者が陥りやすい消費者被害の未然防止をはじめ、自立 した消費者を育成するため、消費生活相談員を派遣し講座を行った。  日時: 令和2年6月29日(月) 10時~11時 テーマ: 「だまされなくて悪質商法(若者向け)」 参加者: 経済学部学生 100名	民法の改正により令和4年度から成年年齢が18歳に引 き下げられることもあり、若者の消費者被害防止と消費 者問題・契約、パーソナルファイナンスについて講演を 行うことで、より学生の認識を深めることができた。
26	委員委嘱	和泉市生活困窮者自立支援連絡会議	社会学部	市民生活部 くらしサポート課	×	コロナにより 未実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、連絡会議の開催を見送る。	—
27	その他	和泉市交換学生派遣・受入事業 (ブルーミントン市)	国際センター	生涯学習部 生涯学習推進室 生涯学習担当	×	コロナにより 未実施	令和2年度受け入れなし	—
28	その他	地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>	社会学部	環境産業部 産業振興室 商工観光担当	○		「“えき”から広がる大阪の再生」をテーマに、和泉中央駅周辺の活性化を図るため、地域の課題を探 り、ニーズにこたえたイベントを企画・実施するにあたり開催されている「まちづくり会議@和泉中央」に 参加している。  【プロジェクト推進協議会会員団体】 ・桃山学院大学 ・エコーレ・いずみ店舗会 ・関西西都市居住サービス エコーレ・いずみ営業所 ・泉北高速鉄道 運輸部 ・南海バス 光明池営業所 ・株ホンダ泉州販売 和泉中央店 ・認定こども園いぶきのPreSchool	鉄道・バス事業者、商店街、学校など地域の多様な関 係者と行政が協働して、魅力ある和泉中央駅周辺の空 間を創造し、まちの活性化を図ることができた。
29	4つの約束	使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に係る協定	地域連携室	環境産業部 生活環境課	○		各々持ち得る資源を有効に活用し相互連携と協力により使い捨てコンタクトレンズ空ケースを回収し、 プラスチックごみ削減、資源再生の推進をすることにより市民意識の高揚を図り、循環型社会の構築を めざすものとして、令和3年2月2日付で和泉市・桃山学院大学・HOYA株式会社アイケアカンパニーの 三者で連携協定を締結。	想定以上の回収量であったため、関心が高かったこと を認識した。